TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝LED照明器具取扱説明書

保管用

形　名	LET-12442-LD9	（調光用）

明るさタイプ	色温度	適合LEDバー形名	明るさタイプ	色温度	適合LEDバー形名
7,000lmタイプ	5000K	LEM-07042N	3,500lmタイプ	5000K	LEM-03542N
	4000K	LEM-07042W		4000K	LEM-03542W
5,200lmタイプ	5000K	LEM-05242N	2,600lmタイプ	5000K	LEM-02642N
	4000K	LEM-05242W		4000K	LEM-02642W
4,000lmタイプ	5000K	LEM-04042N	2,000lmタイプ	5000K	LEM-02042N
	4000K	LEM-04042W		4000K	LEM-02042W

このたびは東芝ＬＥＤ照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

・お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

禁止
- 器具に表示された電源電圧（定格電圧±６％以内）以外で使用しない。（短寿命、火災の原因）
- 器具を改造したり、部品を変更しない。（落下、感電、火災等の原因）
- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

必ず実施
- 器具の取り付けは、質量に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。（器具落下の原因）
- 電源線接続は、確実に差し込む。（発熱、火災の原因）

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

禁止
- 屋内専用で、５℃～35℃の範囲で使用する。（火災の原因）
- 屋外や軒下、湿気、水気、湿気のある場所で使用しない。（絶縁不良、感電の原因）
- この器具は腐食性ガスが発生する場所で使用しない。（変質、変色、絶縁不良、落下の原因）
- 器具を密閉した空間に使用しないでください。ＬＥＤ短寿命の原因となります。

お客様へ　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

禁止
- 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない。（火災の原因）
- 器具のすきまなどの針金などを差し込まない。（けがや感電・火災などの原因）
- お手入れの際は、必ず電源を切る。（感電の原因）

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

禁止
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。（傷、腐食の原因）
- ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。（破損、落下、感電の原因）
- 器具のお手入れは、乾いたやわらかい布か、ぬるま湯または中性洗剤で浸した布をよく絞ってからふく。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）

必ず実施
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- １年に１回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）
- 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

■基本特性（周囲温度25°C時）

一般タイプ	7,000lmタイプ			5,200lmタイプ			4,000lmタイプ			3,500lmタイプ			2,600lmタイプ			2,000lmタイプ		
入力電圧(V)	100	200	242	100	200	242	100	200	242	100	200	242	100	200	242	100	200	242
入力電流(A)	0.537	0.265	0.223	0.400	0.200	0.169	0.315	0.160	0.137	0.254	0.132	0.114	0.213	0.112	0.098	0.161	0.087	0.077
消費電力(W)	53.5	51.8	51.8	39.8	38.9	39.1	31.2	30.7	30.9	25.1	24.8	25.1	21.0	20.8	21.2	15.8	15.8	16.3

HGタイプ	7,000lmタイプ			5,200lmタイプ		
入力電圧(V)	100	200	242	100	200	242
入力電流(A)	0.453	0.226	0.190	0.328	0.167	0.142
消費電力(W)	45.1	44.0	44.1	32.6	32.0	32.2

お願い
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。

(5370162)A

■各部のなまえ

器具質量
LET-12442-LD9‥‥3.9kg

・この器具は本体とＬＥＤバーは別梱包・別売です。
・この取扱説明書は同種類のLED器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■器具の取り付けかた

1 器具の取付方法

4-12×20ボルト用穴　2-φ23電源用穴　2-木ネジ用穴

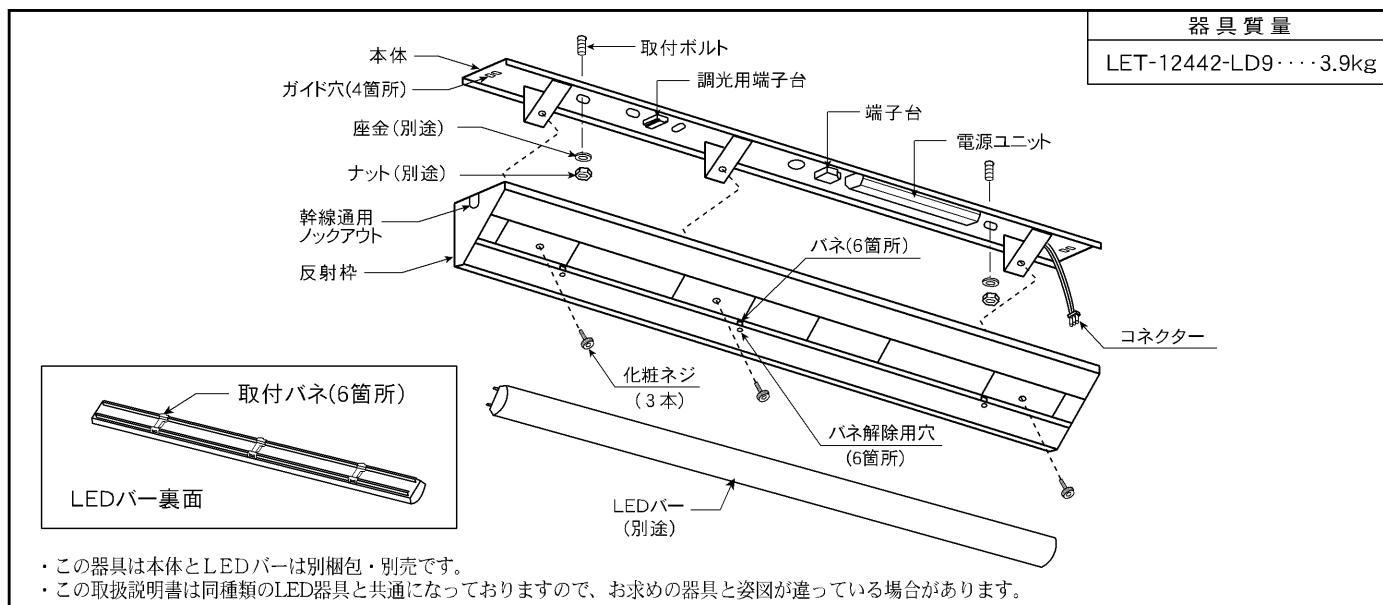
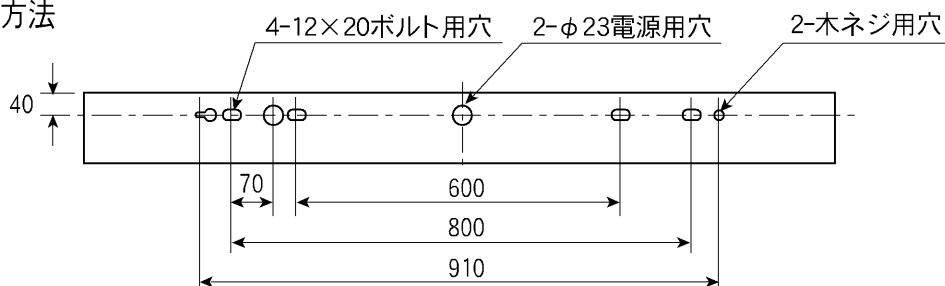
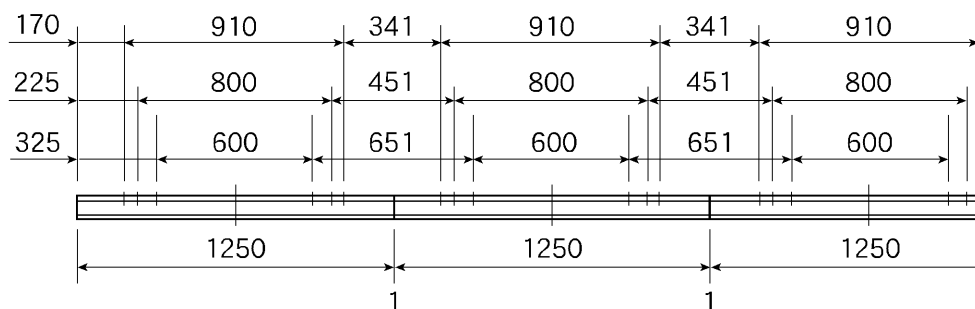
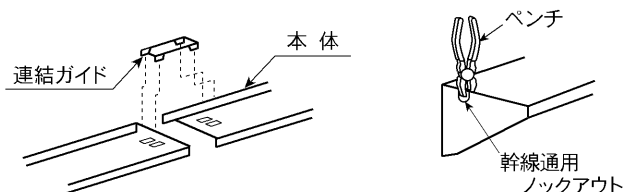
40

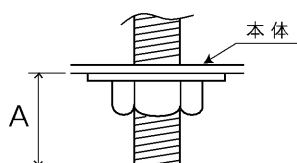
70　600　800　910

連結の場合　取付ボルト間隔

170　910　341　910　341　910
225　800　451　800　451　800
325　600　651　600　651　600

1250　1250　1250

1　1

・連結ガイドを本体の背面からガイド穴に差し込んで取付けてください。
・反射枠の幹線通用ノックアウトをペンチで切り離してください。

2 取付ボルトの器具内寸法

Ａ寸法は、25㎜を超えないように
してください。

■本体の取付けかた

3 本体の取り付けかた

①化粧ネジを外して、反射板を本体から外してください。（図１）
②本体の電源用穴に、電源線、アース線を通してください。
③本体を取付ボルトに確実に取り付けてください。（図２）
（取付ボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。）

⚠ 不備がありますと器具落下の原因となります。

（注）本体施工時に片側の取付ボルトで取り付けた状態を放置しないでください本体変形の原因となります。

（注）取付ボルトのナットを締めすぎますと、器具が変形する場合があますので、器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

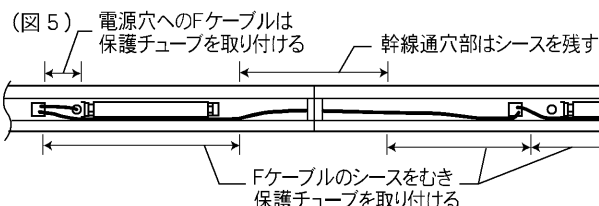
④7,000lmタイプ(一般)において、Fケーブルを電源穴から引き込む場合にはFケーブルのシースを170㎜皮むきし、電源線(白、黒)にLEDバー同梱の保護チューブを150㎜に切断して根本まではめこんでください。(図3)

⑤7,000lmタイプ(一般)にて、器具内送りを行う場合、Fケーブルのシースを520㎜皮むきし、電源線(白、黒)にLEDバー同梱の保護チューブを切断せずに根本まではめこんでください。(図4) 幹線通穴部を通す際は必ずFケーブルのシースを残してください。(図5)

（図１） 本体 / 幹線通用ノックアウト / 反射枠 / 化粧ネジ（３本）

（図２） ボルト用穴 / 取付ボルト / 座金 / ナット

（図３）（電源穴から引き込む場合） 保護チューブL=150 / 電源線(白、黒) / シース

（図４）（器具内送りの場合） 保護チューブL=500 / 電源線(白、黒) / 520 / シース

⑥電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。(図4)
※7,000lmタイプと5,200lmタイプと4,000lmタイプ使用時は、二次電圧が150Vを超えますので、100V入力でのご使用の場合でも、アース工事は確実に行ってください。

⚠ 不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

端子台の送り容量は右表の通りです。
※棒状端子を使用しないでください。

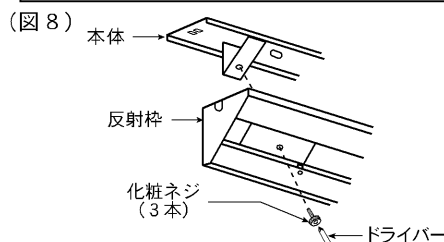
⚠ 容量を超えると発熱、火災の原因となります。

（図６） リリースボタン / アース線 / 送り線用 / クロ / シロ / 13±1 / 電源線 / 押しつける / (適合電線φ1.6・φ2.0単線)

（図７） リリース用穴 / 調光信号送り線用 / 調光信号線

明るさタイプ	送り容量(一般)	送り容量(HG)
7,000lm	LEDバー同梱の保護チューブを使用し12A以下	10A以下
5,200lm	10A以下	16A以下
4,000lm	16A以下	―
3,500lm	16A以下	―
2,600lm	18A以下	―
2,000lm	20A以下	―

⑦調光信号用端子台に調光信号線を差し込んでください。調光信号線はφ0.9φ1.2の軟銅単線(CPEX)または警報用電線、AE線(OP線など)をご使用ください。リリースする場合は、リリースボタンを押して調光線を引き抜いてください。(第7図)
⑧電源線の接続後、余分な電源線は電源穴から押し戻してください。
たるみがあるとLEDバーが取り付けられない場合があります。
⑨反射枠との当たりを防ぐため、電源線を端子台に押し付けて接続してください。(図6)
⑩反射枠の取り付けは、本体へ押し上げて化粧ネジをドライバーで確実に取り付けてください。(図8)

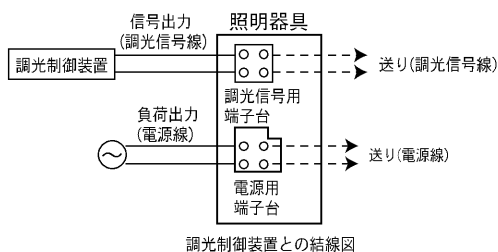
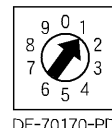
⚠ 不備がありますと落下の原因となります。

■調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置をご使用して調光を行うことができます。
調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

Ⅰ.SESLをご使用の場合
①SESLは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・あかりセンサータイプ：DF-20206XD7(100V～242V用)、DF-20207XD7(100V～242V用)、DF-20204MXD7(100V～242V用)
・あかり＋人感センサータイプ：DF-20206ZD7(100～242V用)、DF-20207ZD7(100～242V用)、DF-20204MZD7(100V～242V用)
・パネルタイプ：DF−70403(100V～242V用)
②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
③電源線はSESL用と器具用の2系統必要となります。

Ⅱ、コントルクス(コントルクスPD)をご使用の場合
①コントルクスPDは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・DF−70170−PD(100V～242V用)
②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
③コントルクスと照明器具との配線最遠長は200m以下としてください。

調光制御装置との結線図

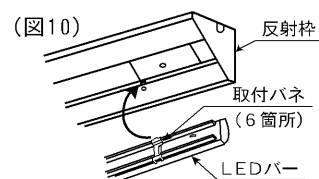
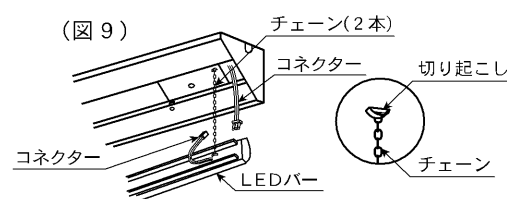
・その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれ個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
・器具への結線の際、電源線と調光信号機の端子台を間違わないよう接続してください。
「誤結線しますと電源ユニットが壊れます。」
・調光信号線はφ0.9φ1.2の軟銅線(CPEV)または警報信号機(AE線)をご使用ください。

④コントルクスの設定スイッチを図のように操作してください。
コントルクスの設定スイッチ操作を行わない場合、LEDバー表面の明るさが均一にならないことがありますが性能としては問題ありません。
Ⅲ、各制御装置へ接続する場合の最大接続台数は器具商品図面をご確認ください。

コントクルス設定スイッチ図

■ＬＥＤバーの取り付けかた

①本体とＬＥＤバーのコネクタの位置を合わせ、ＬＥＤバー背面にあるチェーン（２本）の先端を器具内面の切り起こしに引っ掛け、ＬＥＤバーを器具に吊り下げてください。（図９）
チェーンの先をペンチなどで閉じてください。

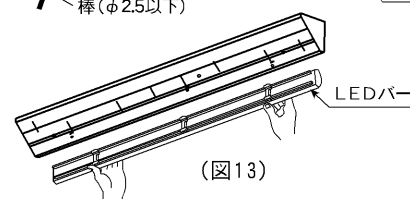
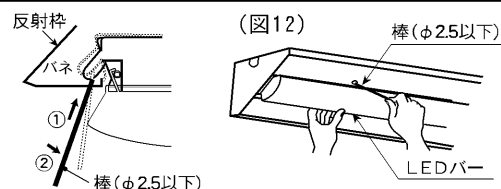
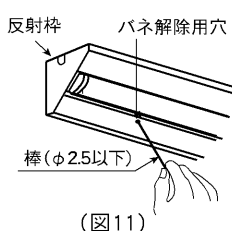
不備がありますと、器具落下の原因となります。
ＬＥＤバーをひねらないでください。

②コネクタ接続の際は必ず電源を切ってから行ってください。コネクタを確実に接続してください。
③ＬＥＤバー取付バネ（6箇所）の位置を押し上げ、ＬＥＤバーを確実に取り付けてください。取付バネが本体に取り付く際にカチッと音がします。天井がゆがんでいると正常に取り付かないことがあります。ＬＥＤバーをカチッと音がするまで押し上げ、ＬＥＤバーを確実に取り付けてください。（図10）
※余った電線およびチェーンはＬＥＤバーを取り付ける際に挟み込まないように注意してください。
※ＬＥＤバーの真ん中は押さないでください。
④ＬＥＤバーををひねらないでください。軽く引っ張り確実に取り付いていることを確認してください。

不備がありますと、不点灯や発熱、火災の原因となります。

（図９）
（図10）
■ＬＥＤバーの取りはずしかた

①本体にバネ解除用穴がＬＥＤバー1本につき６箇所あります。
②バネ解除用穴のφ2.5以下の棒を矢印①の方向に挿入し、矢印②の方向に押してバネを解除してください。（図11）
③ＬＥＤバーに手を添えて、本体の両側にあるバネを全て解除してください。（図12）
④反対側のバネを全て解除し、ＬＥＤバーを本体から取りはずしてください。（図13）

（図11）

（図12）
（図13）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店へご相談ください。 販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター
0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日 9：00〜20：00
携帯電話・PHSなど046-862-2772(通話料:有料)
FAX 0570-000-661(通信料:有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍 光灯器具・ＨＩＤ器具の安定器(インバータバラスト含む)については３年間です。
・セード、グローブ、リモコン送信機は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの　消耗品は対象外とさせていただきます。
・24時間連続使用など、１日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

・保証期間中は お買い上げ日を特定できるもの を添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
・その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合は原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(2)お買い上げ後の取付場所移設、輸送、落下などのよる故障及び損傷。
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、して以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷。
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合。
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷。
(7)日本国内以外での使用による故障及び損傷。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後６年間保有しています。
補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 施設照明担当 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 TEL(044)331-7556 FAX(044)548-9604

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。